歯科医師認知症対応力向上研修　標準的なカリキュラム（案）

	研修内容	
Ⅰ 基本 知識	ねらい	認知症の人や家族を支えるために認知症対応の基本知識を習得する
	到達目標	●認知症の現状および病態やその特徴を理解できる ●認知症診療・ケアの概要とプロセスを理解できる
	主な内容	①認知症施策の現状 ②認知症の特徴（認知機能障害と行動・心理症状） ③各病型の特徴と症例 ④画像診断やアセスメントの概要 ⑤認知症治療薬や薬効の概要
Ⅱ かかり つけ歯 科医の 役割	ねらい	認知症の人の神経心理学的症状を理解し、配慮した歯科治療を行う 歯科医療機関全体で認知症の人や家族への支援を行う基本的知識を得る
	到達目標	●かかりつけ歯科医の役割の理解 ●認知症の人(疑いを含む)の神経心理学的症状の理解 ●神経心理学的症状に配慮した歯科治療上の配慮 ●スタッフ教育および歯科医院全体で行う患者・家族への支援
	主な内容	①かかりつけ歯科医(歯科医療機関)の役割 ②歯科診療において注意すべき気づきのポイント ③認知症の人の歯科治療をスムーズに進めるための視点 ④歯科診療所で起こる BPSD に対する対応 ⑤治療計画とケアの計画の立案のしかた ⑥歯科医療機関の管理者の役割
Ⅲ 連携・ 制度	ねらい	認知症の人を支えるための医療・介護、地域が連携した生活支援の重要性を理解する
	到達目標	●認知症の人を地域の連携体制で支える仕組みとかかりつけ歯科医の役割について理解する ●介護保険制度で利用できるサービスについて、本人・家族に説明することができる ●成年後見制度・高齢者虐待防止法等の権利擁護の仕組みの概要を説明することができる
	主な内容	①サービス担当者会議でのかかりつけ歯科医の役割 ②ケアマネジャーとの連携 ③認知症ケアパス、認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員等の仕組み ④若年性認知症の現状と支援の制度 ⑤成年後見制度、高齢者虐待の現状